

南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

平成29年度第1回

(平成29年5月25日)

平成29年度第1回南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

1. 日 時 平成 29年 5月25日 (木)  
開 会 午前10時 00分 閉 会 午前11時 30分
2. 場 所 南丹市役所 4号庁舎 2階会議室
3. 協議事項 別紙次第のとおり
4. 出席委員 村上委員長 仲村副委員長  
吉野委員 木村委員 本城委員 安木委員 大倉委員  
船越委員 寺尾委員 西田委員 森委員 河原委員
5. 事務局 福祉事務所長 榎本  
社会福祉課参事 矢田  
発達支援係長 山崎  
社会福祉課 村上  
つくし園施設長 長田
6. 傍聴人 1名

## 1. 開会

15名の委員のうち、12名の出席です。南丹市子育て発達支援センター施設条例第2項に定める過半数以上の出席となっていますので、本委員会は成立していることを報告します。

本城委員・大倉委員・森委員の新委員3名を紹介。

## 2. 委員長あいさつ

昨夜から雨が降っておりましたが、そんな中皆様には集まって頂きありがとうございます。有意義な審議ができますよう、よろしくお願い致します。

以下、村上委員長が議長となり議事進行。

## 3. 議事

### ・平成28年度発達支援相談事業実績報告

事務局より資料1、2を基に報告。

### ・平成28年度児童発達支援事業実績報告

事務局より資料3～7を基に報告。

### ・事業実績報告について質疑応答

⇒質疑なし

議長：発達支援事業及び児童発達支援事業実績報告について、承諾いただける方は挙手願います。

⇒全員挙手。

議長：承認されました。

### ・平成29年度事業計画について報告

事務局より資料8、9を基に報告。

### ・事業計画について質疑応答

委員：丁寧な事業計画に敬意を称します。京都府全体としては、「支援ファイル」の活用が芳しくない。南丹市は平成23年度から配布され、広がってきている。資料2の表9から、早い年齢では1歳児、2歳児に、他にも小学生、中学生と配布されている。関係機関と連携を充実していきたいとあったが、具体的に支援ファイルをどのように活用しているのか教えて頂きたい。

事務局：関係機関というのは、つくし園、保育所、幼稚園、教育委員会、保健医療課のことである。関係機関で、支援ファイルを活用しやすくするにはどうしたら良いかを話し合う機会とし、それぞれの関係機関に支援ファイルを次に繋げていくことを共通認識できるように会議を開催している。

平成26年度に支援ファイルを配布した方々に無記名のアンケートを行った。回収率は30%だったが、回答者全員が「支援ファイルを活用している。」と回答があった。

配布してから次に繋げていくことの難しさはある。中学校から高校への活用は、配布しはじめた児童がまだ高校生になっていないので、これからである。

委員：就学前から小学校への連携はよくきく。ただ、小学校から中学校、中学校から高校へと連携をとることは、保護者自身が情報提供してほしい方が少なくなっていくことも考えられる。実際はどうですか。

委員：記入していく手間が本当に大変という現実がある。移行支援シートをつくる会議にも参加させてもらっていた。毎年春になるとすごい量の書類を書かなくてはならない。学校でも、所属クラスによって似たような書類を沢山提出しなければいけない。本当に大変。相談員や保健師と一緒にあれば記入しやすい。記入内容には「どうですか」とおおざっぱにきく項目がある。とても答えにくい。そのため、具体的な項目の方が書きやすい。作業の大変さから支援ファイルの広がりにくさがあることも考えられる。関係機関が手伝ってもらえたらありがたい。

委員：つくし園の体制変更に関して前回の委員会で発言させて頂いた。今回の報告を聞いて、つくし園だけが待機児童が増えた訳ではなく、京都府全体が同じ状態だということを知った。また、輸送サービス事業利用数についても増えていることも知った。利用者には、まず保育所に行ってからつくし園で活動し、また保育所に戻る子どももいる。子どもの体力的に厳しいのではないか、3・4歳はスケジュールの大変さはないか。例えばはじまりの会、おわりの会を2回していないかなどが心配である。保育所とつくし園のスケジュールの連携はされているのか、送り出す時に保護者がちゃんと今日はつくし園に行く日だと子供に伝えられているのか、こういった形で子ども達が保護者に送り出されているのか？療育に通うということは、子どもへの一支援である。手厚くなってつくし園の利用がしやすくなっている。その反面、就学後の福祉サービスの利用は限られてくる。放課後等デイサービスにくる子ども達の保護者の中でも休みの日をどう過ごそうかと困っている方もおられる。祖父母にお願いしていても、祖父母が高齢になってきたため、生活がまわらなくなることもある。小さい時から継続して、先を見込んでいける環境を保護者自身がつくっていくことが大切。送り出すという体制を自分たちでつくっておいてもらうべき。小学校からが大変困ることになる。

事務局：我々がこの体制を考えている時から、課題として検討していたことについて質問いただいた。各園の先生方が本人に上手につくし園のことを伝えていただいている。午前開始クラスの子供達は朝の自由時間の間につくし

園のバスが迎えに行くことができているため、はじまりの会を2回するよう  
なことはない。また、つくし園でお弁当を食べて、保育所に送り出す際は、  
バスの中で寝たまま、保育所のお昼寝の時間にそのまま入り、みんなと同じ  
ように起きて活動できている。午後開始クラスの子ども達は、保育所での昼  
寝が始まる前につくし園のバスが着くようにしている。「ぼくは昼寝嫌いやか  
ら良かった」という子がほとんど。帰りの時間も別々ではなく一緒にできて  
いる。体力的面を考えて4・5歳児は午後クラスに編成しているが、午後ク  
ラスの中に睡魔が強い児童がいたため、午前クラスに変更したりするなど、  
状況によりクラス編成をしている。送り出す時も、つくし園での様子を写真  
でみてもらっている。先生方とは連携をとりあっている。  
輸送サービス利用がはじまって、保護者とのコミュニケーション機会が減る  
ということも考え、お便りを書いて保護者に連絡し、訪問したケースもある。  
保護者の状況に合わせ、話をするように心がけている。

議長：ありがとうございます。他にありますか。

委員：先ほど質疑があった支援ファイルのことですが、事務的な大変さがあるとい  
うことでした。脳科学的にも少しずつ発達障害等について分かってきてはい  
るが、なかなか理解が進まない。中には隠したいと思う保護者や「書くこと」  
自体が苦手な保護者もいるのではないかと。

委員：いると思います。公立高校では中学校からの引き継ぎがあるが、保護者から  
の情報がなく、対応方法を検討するケースもある。高校側が何度も保護者と  
連携をして、やっと保護者から話が聞けることもある。もっとはやく声をか  
けてもらえれば早期に成長が促せたのにと先生方が思うことがある。高校の  
先生方は情報を知りたいと思う。

委員：保育所・幼稚園から小学校に行く時は、保護者の希望もあり多くの発達状況  
の情報連携がされることが多い。しかし中学や高校は保護者が特に学力を重  
視する傾向にあり、進路に関わることなので、保護者も不利になると考えて  
しまい、情報提供をしないことがある。しかし、二次障害を避けるためにも、  
情報提供してもらえたらと思う。支援ファイル・移行支援シートの正しい目  
的を理解してもらえたらと思う。

議長：他にありますか。(質疑なし)

議長：事業計画について、承諾いただける方は挙手願います。  
⇒全員挙手。

議長：承認されました。

・平成29年度年間計画について報告

事務局より、資料10を基に報告。

・年間計画について質疑

委員：先ほどから話にでていた連携についてですが、南丹市では就学指導委員会がある。私は園部中ブロックに所属しており、教育委員会・各所園校代表・通級指導教室担当・保健師・子育て発達支援センターととてもよく連携をとっている。南丹市の場合は連携が進んでいると思う。高校に関しては、市民が南丹市内の高校に行く場合は連携しやすい。しかし、京都市内から来ている方の連携はとりにくい。

学校連携に関して年間計画にも入れて頂きありがたい。

事務局：高校以降の進路相談等に関して、社会福祉課内にある基幹相談支援センターが相談を受け、福祉的就労に繋げることがある。基幹相談支援センターと高校の先生方とで連携をとることや、発達経過に関しては子育て発達支援センターと連携をとることもある。

事務局：高校入学時の連携は十分ではない部分もある。出来る事を今後も検討していきたい。

議長：平成29年度年間計画の報告について、承諾いただける方は挙手願います。

⇒全員挙手。

議長：承認されました。

議長退壇

4. 閉会のあいさつ 副委員長

忙しい中ご参集いただきまして有難うございました。発達障害の子ども達が増えてきている中で、先日テレビで発達障害に関しての番組が放送されていた。これまで思っていた発達障害のイメージとは違った。発達障害をもつ子ども達一人ひとり感じ方見え方が全然違うことを知った。イギリスでは、お店の電気がまぶしいと感じる人たちもいるため、お店の電気を消す時間帯を設けているそうで、先を見通した対応がされていると思った。

新しい委員も加わり、今後ご尽力受け賜りますようよろしくお願い致します。